

4. 本時の展開 (1/9)

- (1) ねらい 古い写真や道具などの資料をもとに、疑問や調べたいことを考え、単元のめあてを立てる活動を通して、古いものや昔のくらしに関心を持ち、地域の人々のくらしの変化について追及する意欲をもてるようにする。
- (2) 準備 写真資料 昔の道具の実物 ミニホワイトボード (児童)
- (3) 展開

過程	学習活動	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◇主体的に取り組ませるための支援) (◆対話的な学びをさせるための支援) (□深い学びをさせるための支援)
とらえる	1 本時のめあてをつかむ。 ・写真を見比べて、変化した内容について問いかける。	5分	・昔と今の学校の様子を見比べさせ、くらしが変化していることに気づかせる。
<p>【めあて】 古いものと今のものをくらべてちがいを話し合い、単元のめあてをたてよう</p>			
考える ・わかる	2 一人一人が、昔の道具と今の道具の資料を見比べて、疑問や調べたいことを考える。 ・アイロン・蓄音機・電話などの資料を順序良く提示する。 ・資料を学級全体で確認しながら、見比べ、資料から考えたことを記述・発言する。	15分	・資料を示しながら、何に使われていたのか、どのような使い方をしていたのかを予想させる。 ・児童の生活に身近で、現在は電気製品に変化している道具を資料として選び、使い方の比較がしやすいようにする。 ◇一人一人が自分の考えをもって学習に参加できるよう、考えをホワイトボードに記述させる。 ◆「今の道具は○○だけど、昔の道具は○○みたいだ」のように比較して発言できるように話型を示す。
伝える	3 学級全体で、昔と今の道具やくらしの変化についての疑問や調べたいことの共有や焦点化をはかる。 ・ホワイトボードの内容からキーワードを確認する。	15分	◆道具の変化の様子、便利になったことや不便になったこと、それぞれの違いなどを問いかけ、ホワイトボードに記述させる。全員の意見を黒板に掲示させ、見比べられるようにする。 □「持ち運べてどこでも使える」「スイッチを押すだけで使える」「電気を使うからコードがある」など道具の変化に気付いている児童の記述を取り上げながら、道具の変化がくらしにも影響を与えることに気付けるように、声をかける。
まとめる ・ふりかえる	4 本時のまとめとして、単元のめあてを立て、一人一人が学習の振り返りをする。 ・キーワードをもとに、児童とのやりとりを通して単元の課題をまとめる。 【単元のめあて】 人々のくらしは、どのようにかわってきたのだろうか。 ・本時の振り返りとして、「今日の学習で特に興味をもったこと」や「どうやって調べていきたいか」などをホワイトボードに記述する。	10分	・児童の発言をつなぎながら、道具の形状や使い方を調べることが、昔の人の生活の様子を知ることにつながることを確かめ、単元のめあてにつなげる。 ◇めあてを示して次時からの学習の見通しをもたせ、どんな風に調べると解決できるか、一人一人の追究したいことや追究方法を表現させることで、主体的に問題解決学習に向かえるようにする。 〈評価〉 身の回りの古いものや昔のくらしに関心をもっている。【関】 (ホワイトボード・発言)